



第1日目 - 2015年4月20日月曜日

- 08:00 受付
- 09:00 司会者あいさつ
- 09:10 **グローバル分析と2015年の見通し**
PCI (PET Packaging, Resin & Recycling) Ltd
取締役 : デビッド・スウィフト (David Swift)
- 09:40 **MEG (モノエチレングリコール) 市場の発展**
三菱商事 - 日本本社
ポリエステル事業部部長 : 有馬隆
- 10:10 ディスカッションの後、休憩
- 10:50 **日本PET 産業の概要**
・ 清涼飲料水およびビールのパッケージ
・ PET ボトルの回収
T-Bay インターナショナル・ビバレッジ・ビジネス・コンサルティング
取締役 : 松田晃一
- 11:30 **環境にやさしい PET ボトルやラベル開発におけるサントリー社の進展的努力**
・ 再生 PET 樹脂使用の増大
・ 軽量化の方法
サントリービジネスエキスパート
新包材技術開発推進部部長 : 高田宗彦

- 12:05 **プリフォーム製造における品質、費用削減および生産性のイノベーション**
ミラクロン : マーカス・サッチ
- 12:35 **PET ボトルのリサイクル用の機械を組み合わせる際に知っておくべきこと**
Chang Woen Machinery Co., Ltd
地域セールスマネジャー : テッド・カオ

- 13:00 ディスカッションの後、昼食提供



- 14:00 **DLC コーティングの先進技術**

- 14:40 **PET のプリフォーム成形インジェクションとビバレッジ産業のためのクーリングソリューション最新動向**
Frigel Firenze S.P.A
取締役代表者



- 15:10 ディスカッションの後、休憩

- 15:40 **VACUREMA システムを使った PET 製造の経済性、柔軟性および安全性**
EREMA Engineering Recycling Maschinen und Anlagen Ges. m. b. H.
Vacurema 製品部長 : イング・クリストフ・ヴォス



- 16:10 **ホットフィル・パッケージ技術がいかに二酸化炭素排出量の削減に貢献するか**
Bericap Holdings GmbH
技術マーケティング・ビジネスデベロップメント部長 : ロザー・ブラウワー



- 16:40 最終ディスカッション、第一日目終了

- 17:15 **スピーカーおよび参加者全員対象のネットワーク・レセプション提供**



第2日目 - 2015年4月21日火曜日

- 09:00 司会者あいさつ
- 09:10 **テイジンのエコ・サークル : 使用済みポリエステルを新しい繊維に再生する世界初の無限ループシステム**
帝人フロンティア
情報ストラテジー・サステナビリティプログラム本部長 : リッキー・ミヤタケ
- 09:40 **PET ボトルに使用される MR 樹脂の概要**
協栄産業
常務取締役営業本部長 : 金丸敦
- 10:10 ディスカッションの後、休憩
- 10:50 **単純な押し出し形成法一つでできる食品用 PET のリサイクル**
Gneuss Kunststofftechnik GmbH
技術営業部長 : アクセル・ハネマン
- 11:10 **Starlinger - トピックは当日お知らせします**
- 11:30 **食品コンテナとしてのトレイやパッケージ材に使われる PET の押し出しフォーム・シート新開発**
・ 再生 PET 樹脂の利用
- 12:00 最終ディスカッションの後、閉会式
- 12:15 昼食

会議は日本語英語同時通訳を提供します。
The conference will provide a Japanese-English simultaneous interpretation



2015年4月20～21日 東京

日本のPET樹脂取引、繊維、応用およびリサイクルについて



Centre for Management Technology®
into our 32nd year

www.cmtevents.com

SEPARATELY BOOKABLE

会議終了後の見学ツアー
(会議出席者のみ参加可能)
4月21日(14:00 ~ 21:00)

キリンパッケージング技術研究所見学見学ツアー
(バーベキュー・ディナー付)

14:00	ホテルのロビー出発
15:00	キリンパッケージング技術研究所到着 研究所内で試験工場ラインや研究所の分析システム、自動販売機の構造などを見学していただきながら、PETボトルの軽量化、二酸化炭素排出量削減およびユーザーフレンドリーなデザイン(UD)の飲料容器といった、キリンのパッケージング技術を確認していただけます。
17:30	解散後キリンビールのレストラン「ピアポート」でキリンビールの試飲、バーベキュー・ディナーをお楽しみいただけます。
20:00	工場・レストラン出発
21:00	ヒルトンホテル到着

SEPARATELY BOOKABLE

会議終了後の見学ツアー
(会議出席者のみ参加可能)
4月22日(9:00 ~ 17:30)

ジャパンテックPETリサイクル・協栄産業・サントリープロダクツ様名工場見学ツアー

08:30	ヒルトン東京出発
10:30 - 11:30	ジャパンテック到着・回収したPETボトルを粉塵化するリサイクル企業 ジャパンテックの概要説明後、施設内見学
12:15 - 12:45	協栄産業・消費者使用前・使用後のプラスチックを回収・リサイクル
13:30 - 14:30	昼食
14:30 - 15:45	サントリープロダクツ様名工場到着 サントリープロダクツ様名工場の概要説明後、清涼飲料ツアー
15:45	様名工場出発
18:00	ヒルトン東京到着

免責事項

CMT にとって制御不能な理由により、会議の内容や日時または開催場所の変更が起こる場合があります。CMT はいかなる混乱や補償請求に対しても一切の責任を負いません。また、このような変更が起こった場合は、CMT の通常のキャンセル条項が適用されます。

Per Person Fee for Conference: (USD)

JPET (20-21 Apr 2015)	
Regular Fee for 1	1595.00
Group Fee for 3 or more	1295.00

Kirin Packaging Centre tour with BBQ dinner ^{^^} (21 Apr 2015)	125.00
--	--------

JapanTec PET Recycling, Kyoei Industry and Suntory Haruna Soft Drink Plant ^{^^} (22 Apr 2015)	250.00
---	--------

^{^^} Open to Conference Attendees Only

3 Ways To Register

Online: www.cmtevents.com
Email: hafizah@cmtsp.com.sg
Tel: (65) 6346 9218

CUSTOMISED SPONSORSHIP OPPORTUNITY

Package available include Corporate, Exclusive Luncheon & Cocktail sponsor. Exhibition / catalogue display can be arranged upon request. Contact cynthia@cmtsp.com.sg

Program details published herein are confirmed as at 23/03/2015. Please visit <http://www.cmtevents.com/main.aspx?ev=150413> for latest information on speakers & topics.

時代の最先端を進み続けましょう！ JPET に参加して、日本の急成長分野である PET パッケージ、ポリエステルおよびリサイクル市場とその革新的技術をご覧ください。

日本は PET 産業にとって非常に高度かつ活気あふれる市場であり、乗り越えるべき多くの課題を与えてくれます。また、新たに PET 包装を導入し変化を遂げようとする東南アジアの市場が模範例として位置づける国でもあります。

日本包装技術協会によると、ありとあらゆる種類の包装材の中で2011年の津波のダメージ後に最も力強く急速に市場に戻ってきたのは PET であり、2012年には61万トン記録しています。日本における PET パッケージ業界は、容器の軽量化を追求し続けた結果、著しい成長を遂げました。今日におけるボトルや容器は1999年のものに比べて15%から32%も軽くなっています。つまり業界は PET の配送量を増やしたのみならず、実際に市場に出回っているPET 容器の量を大幅に増やしてきたこととなります。

PET 市場で最大シェアを占める炭酸飲料 以外にも、シャンプーや洗剤などが従来の固いHDPE 容器や柔軟性のあるパウチから PET パッケージに移行する傾向が強まっています。また、高バリア PET 樹脂の需要が増えるに従い、ワインや酒用のパッケージとしての使用も増えてきています。

PET 樹脂の供給事業者は、市場需要を知り、自動販売機が飲食物供給システムの主流となっている現代社会でどのような特徴の樹脂が必要とされるかを知っておかなければなりません。

機械製造業者は常に個々の顧客の需要に合わせたソリューションを開発しています。日本の顧客は環境保護に加えて純利益の向上のためにも、省エネルギーの機械を求めています。

社会的・環境的な変化も業界に大きな影響を与えており、消費者が自身の消費活動の影響に関する具体的な情報を知りようになるにつれ、鋳型業者がより高度な機械に投資を行う主要な理由となっています。このような成長を遂げてい

る大企業は、世界を代表する総合飲料メーカーのサントリーとキリンをおいて他にはないでしょう。

サントリー・グループの主要事業であるサントリー・ビバレッジ・アンド・フードは、2015年も引き続き二酸化炭素排出の削減によって環境に与えるダメージを軽減する方針を維持します。軽量化された PET ボトルや極薄ラベルの作成により、自動販売機のエネルギー消費を抑えることもできます。

また、同社は500mlの PET ボトル導入によって今までの清涼飲料のイメージを変えるなど、小サイズ製品に更に力を入れていきます。

2014年2月、キリンビバレッジは同社製品「午後の紅茶 おいしい無糖」に100%再生 PET 材を使用した R100 PET ボトルを導入しました。

また同社は2012年より、機械的に再生されたPET 材を使って新しい PET ボトルを作るボトル・ツー・ボトルのリサイクル法を取っています。

日本の技術イノベーション企業である帝人グループの帝人フロンティアは、PET ボトルをポリエステルに再生することで新たな再生ポリエステル製品の製造法を生み出しました。化学再生法を駆使して、帝人はボトルに含まれていた汚染物質の問題を解決し、品質を低下することなく再生繊維を何度も繰り返して使用することを可能にしました。

世界における PET 関与企業と PET 包装に携わる日本の企業に集まっていただき、急速に成長するこの市場での画期的なアイデアを共有し話し合う場をご準備いたしますことで、CMT は皆様に貢献できるのではないかと考えています。